

# エビデンスとナラティブに基づいて行う意思決定支援の実際 終末期の意思決定支援・コミュニケーション・ デスカンファレンスのポイント



目的を共有して緩和ケアチーム協業の精度を高めるプロセス

## 多職種連携カンファレンスで倫理的ジレンマを超えて「絶対に答えを出す方法」

緩和ケアにおいては、提案や交渉を含めた包括的コミュニケーション能力が必要になりますが、そこに至るまでにさまざまな葛藤、迷いを生じさせる倫理的課題、具体的な支援の難しさがあります。緩和ケアに向き合うためのプロフェッショナリズムを理解し、患者、家族の意思決定支援に役立つ倫理的ジレンマの解消方法、デスカンファレンスの具体的な方法と実践的コミュニケーションスキルを解説します。

**和田浄史氏** 川崎医療生活協同組合 川崎協同病院 外科部長  
総合診療科 副部長

1992年横浜市立大学医学部卒。横浜市立大学で研修後、第2外科学教室入局。横浜市立市民病院、国立横浜病院、横須賀共済病院、大学病院を経て1998年に退局し、川崎協同病院外科勤務。研修医、薬剤師、介護職向けの終末期ケアに関する研修や、緩和ケア認定看護師を対象としたフォローアップ指導講師として幅広く活躍中。2017年に若月賞受賞。

**東京** 22年 1月30日(日) 10:00~16:00

【会場】日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

千代田区神田駿河台2-1-47

JR「御茶ノ水駅」(御茶ノ水橋口)より徒歩5分

[34]

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円

※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。

※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数15人。

参加料  
税込

### プログラム

#### 1. 緩和ケアのやりがい

- 残された時間をロスタイムにしないためには～チーム緩和ケアの実際
- 絶対外してはいけない3つのポイント

#### 2. 全員でかかわるチームアプローチ

- 理想と現実を埋めていくチームの底力～チームで支える意思決定
- すっきりと合意するためには～信念対立の呪縛を解く
- 多職種カンファレンスで守っている、たった一つのこと

#### 3. 燃え尽きないチームをつくるためには

- デスカンファレンスはなぜ全例行うのか
- デスカンファレンスの実際～ダイアログと記録
- スタッフ同士で支える関係存在 ●エンパワメントという強力なフィードバック
- グリーンケアがもたらすもの **外科医が教えるエンゼルメイク**

#### 4. 終末期ケアに携わる看護師のプロフェッショナリズムとは

- 医療職(看護職)に求められる倫理的感性
- 終末期にWin-Winを追求するということ ●QOLという倫理のものさし
- エビデンスとナラティブに基づいて意思決定を行うには
- 倫理的ジレンマを逃さないコツ
- 臨床倫理4分割法で「絶対に答えを出す方法」

### 事例

- 相手の立場に立つには～共感する力と想像する力を磨く
- 立場が変われば感情が変わる
- なぜ痛みのアセスメントがうまくいかないのか
- QOLを唯一の指標とする意思決定とは

#### 5. 終末期に必要なコミュニケーションスキル

- 信頼関係を築くための3つの基本スキル ●本心を引き出すための会話術
- 「ラポール」を意識した話し方

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 13716

検索

### 関連雑誌

Web教材+季刊誌(定期刊行物・会員制)

望む医療・ケアで人生の最終段階を支える!

## エンド・オブ・ライフ ケア

End-of-Life Care

B5判 88頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

今後の予定

- 終末期がん患者のせん妄ケア実践 [秋(10月)号]  
～私たちができる、発症リスクの適切なアセスメントとよりよいケアとは
- エンド・オブ・ライフケアの臨床倫理 [冬(1月)号]
- 予期悲嘆・悲嘆へのケア [春(4月)号]

17年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

## 社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士 検索

## 日総研 接遇大賞

優れたサービス  
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 検索

お問合せ  
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索